

デジタル地球儀

アプリ化で手軽に

京都大大学院理学研究科の齊藤昭則准教授らは4月27日、iPad専用アプリ「Dagik Earth」を公開した。Dagik Earthは、スクリーンに地球や他の惑星などを写し出すデジタル立体地球儀。球状であればどんな物体でも投影が可能だという。齊藤准教授は「今までのデジタル地球儀では特別な設備が必要だったが、Dagik Earthなら手軽に幅広く、教育や家庭の場で利用することができる」と話した。

Dagik Earthは2007年からパソコンソフト版としてサービスを開始。通常の地球儀とは違った様々なコンテンツを持つデジタル立体地球儀を教育の場にも取り入れようと、手軽さをコンセプトに開発が進められ、これまでに博物館での展示や小中学校の理科や高校の地学の授業などに利用された。

しかしパソコンソフト版では、追加コンテンツのダウンロードや、設定の変更、編集など利用者がいる程度パソコンの知識を持っていることが前提となるという課題も残っていた。アプリ版では、操作を簡単にすることで利用する際の敷居をより低くし、さらに元々のコンセプトだった手軽さもより追求。スクリーンに投影する際、より容易にプロジェクターと接続できるようになり、さらにiPad画面上にコンテンツを表示させることも可能となった。

約90のコンテンツが利用可能で、海水面の温度やオーロラの様子、太陽の黒点の位置など幅広い情報を視覚的に把握できる。また、降水分布図のようにリアルタイムで更新され、表示に反映されるものもある。コンテンツの数の面ではパソコンソフト版に劣るものの、今後パソコンソフト版、iPad専用アプリ版共にコンテンツを追加し、さらなる充実を図るといふ。

2015年には台湾でDagik Earthを利用して講演を行った齊藤准教授。「コンテンツの更新はもちろん、多言語化にも力を入れていきたい」と意気込んだ。

【松島裕規】



Dagik Earthを用いた授業の様子 (提供：齊藤昭則准教授)

UNN 関西学生報道連盟

配信・発行 (C) UNN 関西学生報道連盟 (公式 HP) <http://www.unn-news.com/>

■共同編集室 〒532-0011 大阪市淀川区西中島 4-2-24 ダイニホンビル 4F

(TEL) 06-6307-1315 (FAX) 06-6829-6353 (MAIL) info@unn-news.com

FOCUSは

神戸大学ニュースネット委員会
 同志社大学 PRESS 編集部
 NEWS 立命通信社
 関学新月通信社
 阪大 POST 通信社

関西大学タイムス編集部
 神戸女学院大学 K.C.Press 編集部
 京都女子大学藤花通信編集部
 京都大学 CLOCK 編集部

の共同編集による週刊フリーペーパーです